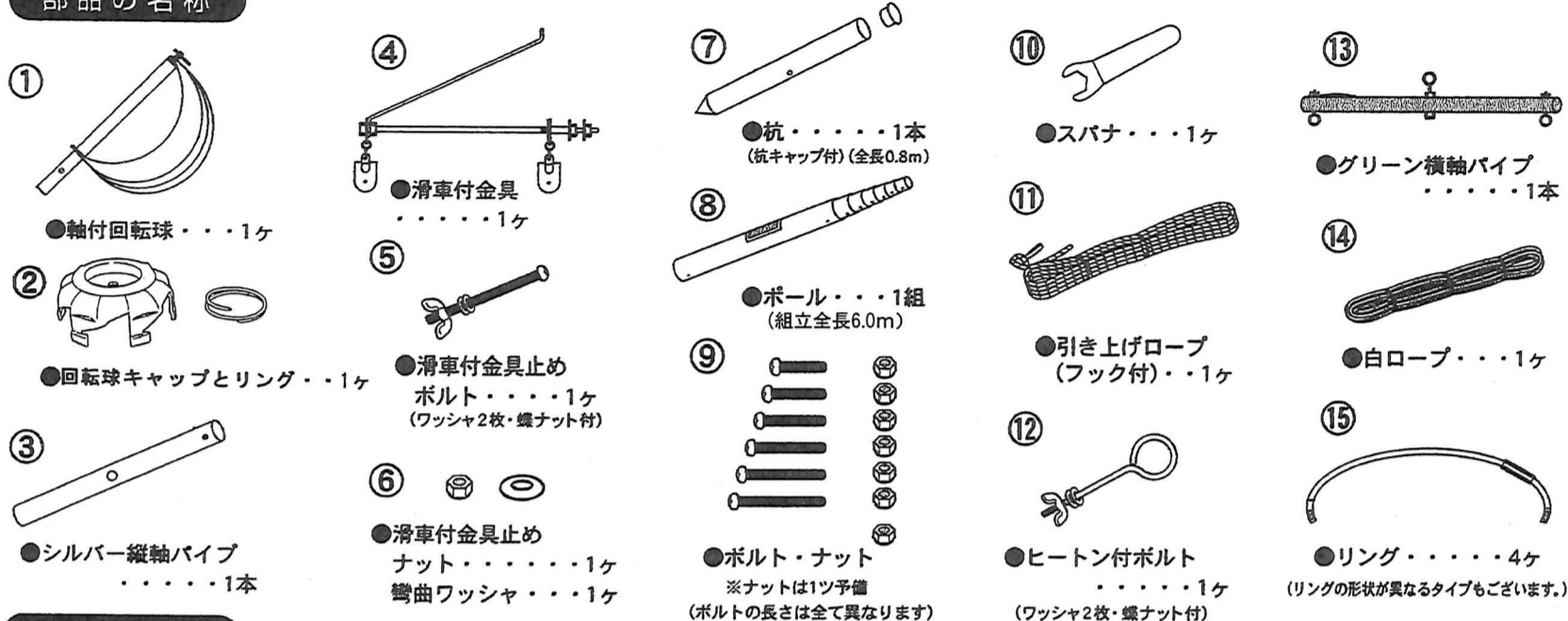


庭園用節句幟セット

N-02[®]
(杭式)

部品の名称



組み立て順序

1 掲揚器の組み立て

1 軸付回転球を広げます。

2 左図の様な状態にして出来るだけ球形にしてください。下側を上を押すと丸くなります。

3 右図の様に回転球キャップ(金色)を広げた回転球上部に差し込み、各々の溝にはめ込みます。

4 リングを縦軸の上部の横穴に差し込んで固定して下さい。

③のシルバー縦軸パイプに上図の軸付回転球と④の滑車付金具を差し込み⑤のボルトと⑥の彎曲ワッシャを入れて、ナットでそれぞれ固定して下さい。

2 杭の打ち込み

ハンマー 木

少し穴を掘ってから、⑦の杭を地中に約2/3打ち込んでください。

※地盤が固い場合は杭の先端が広がらない様、木などを当ててください。

3 ポールの組み立て

⑧のポールの先端から⑨の短いボルトの順に⑩のスパナで組み立ててください。

※ゆるみ止めの特殊ナットのため、スパナとドライバーを使って締めてください。締め過ぎるとポールを傷つける恐れがあります。

4 掲揚器と引き上げロープの取り付け

掲揚器に⑧の組み上げたポールを差し込み、⑪の引き上げロープを取り付けてください。

(風方向で回転するため、差し込むだけです。【ポール先端の穴は使用しません】)

5 ポールと杭の接続

掲揚器の付いたポールを杭に差し込み、⑫のヒートン付ボルトで接続してください。

6 幟旗の取り付け

⑬のグリーン横軸パイプに幟旗を引取り付け、⑭白ロープを上図の様に取り付けてください。

7 完成図

幟旗を取り付けた⑬のグリーン横軸パイプに⑭の引き上げロープのフックを取り付けてください。

幟を揚げながら、⑮のリングを適当な間隔でからませてください。※幟旗のバランスは⑮の白ロープで行ってください。

使用上のご注意

- 杭を打ち込む時は、地面の柔らかい場所は避け、ぐらつかない様しっかり打ち込んでください。
- 組み立て中に万一、ポールが倒れた場合を考え、周囲の安全をご確認の上、組み立てを始めてください。
- ポールはアルミ製のため、電線に触れない様ご注意ください。
- 強風の場合は幟旗をポールから降ろしてください。

日本鯉のぼり協会会員



株式会社 中須

〒557-0063 大阪市西成区南津守5丁目1-32

TEL: 06-6656-0200

FAX: 06-6656-0300